

ネイチャー・ウォーク

令和3年9月
2021.9.12 発行
(通巻第333号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■7月のネイチャー・ウォーク

駅着けば 野鳥の森が 呼んでいる

(秩父鉄道ひろせ野鳥の森駅～同駅)

部会開催数日前に関東は梅雨明け。気持ちよく晴れた熊谷の地は、朝から気温がぐんぐん上がりました。

参加者は前回から増えたけどまだ少なめの7名。それでも荒川大麻生公園には、多くの野生の生きものが待っていました。



自由広場で、ハイ、チーズ！





今回歩いたのは、駅名にもなっている「野鳥の森」と、荒川中流域の砂れき河原を活かした「野草の広場」。時折河辺らしい涼しい風も吹く中、夏の生きものを観察しました。

森の中ではヤブランとヤブミョウガの花が多く咲いており、池ではチョウトンボやシヨウジョウトンボがとびまわっていました。



ヤブラン



ヤブミョウガ



キンミズヒキ



イオウイロハシリグモかな？

道中、ミミズおじさんことスタッフ A によるアンブッシュ、もとい水生動物報告もありました。川の中にもナメクジがいるんですね。

野草の広場はお目当てだったカワラナデシコはまだ花を咲かせていませんでした。残念！ カワラサイコやガガイモの花を観察しつつ、抜けるような青空の下を歩きました。



ガガイモ(上)とカワラサイコ(下)



飲み物をこまめに飲みながら歩きます。ホオジロやセッカもさえずりで歓迎してくれました。最後にはオオタカの成鳥も一瞬だけ姿を見せてくれました。



最後に Walk (多く) 出現認定証の授与。今日はお一人の認定がありました。おめでとうございます。今後ともネイチャー・ウォークをよろしく願っていますね。

スタート地点の駅に戻り、無事ゴール。熱中症も心配される暑さでしたが、一人も欠けることなく歩き切ることができました。約 2 時間と少しの短い行程でしたが、この公園ならではの多くの生き物に出会うことができました。中々満足度の高いコースをお届けできたのではないかと思います。



次回は 9 月、今後もネイチャー・ウォークは楽しいコースをご用意しております。ふるってご参加ください！